**第６回　河原地域振興会議**

日　時　平成30年11月19日（月）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　午後1時30分～午後2時40分

場　所　河原町総合支所　第6会議室

**〔出席委員〕**

竹田賢一会長、小谷加代子副会長、山縣恒明委員、楮原典子委員、倉信　敬委員　　　　中村佳紀委員、坂本悦子委員、西尾　純委員、奥谷仁美委員、坂本綾子委員　以上10名

**〔欠席委員〕**

河毛　寛委員、荻原元春委員

**〔出席議員〕**

金谷洋治市議会議員

**〔交通政策課〕**

太田課長、高野課長補佐

**〔事務局〕**

遠藤支所長、九鬼副支所長、西山市民福祉課長、前田産業建設課長、平尾地域振興課課長補佐

**〔傍聴者〕**

なし

**会議次第**

1. 開　会
2. 会長あいさつ
3. 報告・協議事項

（１）公共交通の現状について【資料1】

（２）平成３０年度の主な事業の進歩状況について【資料2】

（３）　その他

　４　その他

　５　閉　会

**議事概要**

**（１）公共交通の現状について**

（交通政策課　資料１により説明）

　（委　員）散岐線、和奈見・国英線、西郷線の一部の乗合タクシーを運行しているタクシー会社が撤退するということか。

　（事務局）平成３０年度末でやめたいという意志をみせておられます。

　（委　員）何人くらい利用者がいるか。

　（事務局）定時便については、一日２人から３人ぐらいの利用はあるようです。ただ予約については、年間に1人の利用のない便もあります。

　（委　員）今後、高齢化や免許証の自主返納などで公共交通の利用が増える状況にある。なんらかの対策をとらないといけない。有償運送とはどのようなものか。

　（事務局）公共交通機関では移動手段が確保できない場合に、ＮＰＯ法人などの非営利団体が、自家用自動車を使用して運送する運行形態です。白ナンバーでの運行となり、車の購入に対する補助などもあります。京都北部の京丹後市では、スマホアプリを使って、地域住民である会員を対象とした有償運送を行っています。ドライバーとして地域の方の車を登録し、そこに会員が予約をして運行されています。

今は、緊急避難的に４月以降の対策を考えないといけませんが、今後は、地域で利用しやすい方法、仕組みを検討していく必要があると思っています。

（委　員）運転手の年齢制限などはあるか。また、2種は持ってなくてもよいか。

（事務局）年齢制限は、特にはありません。また、２種は持っておられなくても大丈夫です。ハイエースとか普通免許で運転できるサイズの車であれば動きやすいと思います。

（委　員）散岐線や西郷線を運行されている車は、市の持ち物か。それとも事業者の持ち物か。

（事務局）市が貸している車です。

（委　員）運転手さんを確保すればそのまま西郷が借りることも可能か。

（事務局）緑ナンバーを白ナンバーにかえないといけませんが、可能です。

　（委　員）散岐線の和奈見部落から小学校の区間をどうするかということか。

　（事務局）そうです。路線バスは継続されます。

　（事務局）４月からすぐにというのは無理ですが、将来的に５年後、１０年後を見据えて、地域での公共交通のあり方について検討をしてくださいというような話を各公民館長に説明しました。委員さんの中にもまち協選出委員さんもおられますので、地域の中で検討していただけたらと思います。

（委　員）気高循環バス、絹見バス、らっちゃんバス、ふるさとバスは、実際に運行されているか。

（事務局）気高循環バスと絹見バスは市の直営です。気高循環バスは、気高と鹿野を走っています。もともと旧気高町時代に福祉バスとして無償で運行していたものです。合併後、鹿野まで延長し有償として始めたものです。絹見バスは青谷町絹見地区にスクールバスがあり、それを一般の方も乗れるようにして有償として始めたものです。らっちゃんバスは、社会福祉協議会が運行主体となって福部で走っています。ふるさとバスは、末恒地域で民間のNPO法人がやっておられます。

（委　員）いずれにしても何らかの方法でやっていかないといけない。

（事務局）今は、４月１日までに何らかの対策を考えないといけないので、どなたか運転手になってもらえそうな人をご紹介いただければありがたいです。

バス、タクシー事業者は現在の会社が撤退した後、どこか別の会社というのは困難かもしれないです。緊急避難的に市の直営を考えた場合、運転手の確保が必要になります。いろいろなパターンは考えますが、皆さまからもご紹介いただけるとありがたいかなと思います。

（委　員）わかりました。支所と一緒になって進めてください。

**（２）平成３０年度の主な事業の進歩状況について【資料２】**

（遠藤支所長　資料２により説明）

（委　員）国英地区の活性化施設の維持管理は国英地区がするのか。

（事務局）維持管理は市が直営の予定です。

（委　員）浸水対策について、台風などにより千代川に砂利が溜まって山盛りになってきているが砂利などを撤去して川底を下げることが優先だと思う。国への要望などを考えて見てはどうか。

（事務局）国土交通省からは、補正予算を計上して順次整備していくと聞いています。

（委　員）学校の空調設備については、具体的に進めるように新聞に出ていたがどうか。

（事務局）空調整備につきましては、１１月開催予定の臨時議会に補正予算を計上するようになっています。

（委　員）工事については、学校ごとに実施したほうが良い。

**（３）その他**

（九鬼副支所長説明）

（事務局）河原町内の防災無線のデジタル化については、平成３２年度に実施の予定です。平成３１年度については、屋外スピーカーの設置位置について、各集落に設置場所などについての確認作業を行います。また、戸別受信機の設置については、これまで自治会長、消防関係、自警団、民生委員の方などが対象ですとお伝えしてきましたが、現在、防災ラジオの導入に向けて具体的な検討を始めているところです。

（委　員）どのようなものか。

（事務局）直接の戸別受信機ではありませんが、防災無線の放送があったら受信するという形のものです。今後、方針等が決まりましたら、お知らせしたいと思います。

次に、地域内情報伝達設備整備事業ですが、これまでの３つの補助対象事業に加え、集落内の有線放送と１台の音声告知端末を中継器で繋いで各家庭に放送を流すという方法が支所から提案され、現在、どのような基準で補助対象にするかどうかの検討がされています。これについても具体的に決まりましたらお知らせします。

（委　員）自然災害や避難などで、国が国民の命を守るというのが大前提で、それなくして国の安全とか安定はないと思う。市がラジオ設置するとか、費用がかかるとかの問題ではない。やはり、国がこぞってみんなの命を守るということを考えないといけない。

**４　その他**

　次回は、平成３１年１月３０日（水）１５時３０分からを予定しています。

**５　閉会**